

平成28年度檜山管内学校図書館活性化推進事業報告



学校図書館の効果的な活用や魅力ある学校図書館づくりなどを目的とした研修会を、9月2日（金）に檜山教育局と江差町立江差小学校を会場に開催しました。管内各町から学校関係者のほか、公立図書館（室）職員、町教育委員会職員、読み聞かせボランティアなど23名が参加し、講義や事例発表、演習などを通して、学校図書館の活性化や子どもの読書活動推進について研修を深めました。

講義「今、求められている学校図書館」

北海道教育大学非常勤講師・全国学校図書館協議会学校図書館スーパーバイザー 大久保 雅人 氏

- 「学校司書」法制化について
 - ・「学校図書館法の一部を改正する法律（H27.4.1施行）により「学校司書の法制化」実現の意義は大きい。
 - ・「司書教諭」と「学校司書」の配置に向けた新たなスタート。
- 学校図書館に求められていること
 - ・「言語活動」を支える条件として、教材の充実、読書活動の推進、学校図書館の活用や学校における言語環境整備が重要。
 - ・「読書活動」「学校図書館を活用した学習活動」は読解力及び思考力・判断力・表現力を培うために最適。
- 学校図書館と公立図書館の連携の在り方
 - ・「連携」から一歩進めた「協働」した取組の推進が必要。



事例発表「学校図書館の効果的な活用」

奥尻町立奥尻小学校教諭 田名部 圭一 氏

- 「読み聞かせ」の取組
 - ・学級で取り組んでいる「読み聞かせ」の実演
 - ・なぜ読み聞かせをするの？
 - ①本の楽しさを伝える ②本を通じてメッセージ
 - ③子どもたちの聞く力 ④本を通じてコミュニケーション
- 本のある環境づくり
 - ・学級文庫「たなぶんこ」を設置
 - ・司書不在、蔵書数、時間数等の課題→学校全体の意識へ
- 本を読んでもみたくなる活動
 - ・町の図書館やボランティアとつながる
 - ・読書の楽しさ、本を好きになる、知恵と工夫



説明・演習「魅力ある学校図書館づくり」

檜山教育局教育支援課義務教育指導班主査 湊 秀樹

- 説明「“子どもが集まる”学校図書館の環境づくりを！」
- ①リニューアルのポイント
 - ・定期的に図書の更新、除架（除籍）。古い本は書架から除く。
 - ・本を手に取りたくなるよう、ディスプレイを工夫。
 - ・わかりやすく、親しみを感じる表示や装飾を工夫。
 - ・読書、授業に使いやすいよう、本棚・机・椅子等を配置。
- ②連携・協働する工夫
 - ・まちの図書館（室）との連携。団体貸出、情報交換。
 - ・PTA・ボランティアとの協働。読み聞かせ、掲示物の作成。
- 演習「ディスプレイの工夫」
 - ・グループごとに、学校図書館内の本棚から古い本を除架。
 - ・グループごとに、課題や今後の取組について意見交流。



アンケート結果・参加者の感想

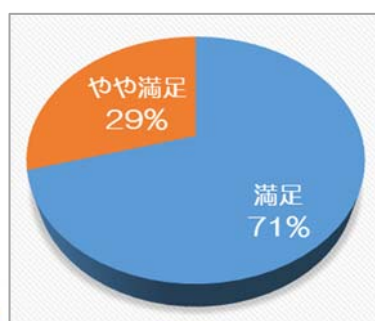
【講義】「今、求められている学校図書館」

- ・ふだんあまり考える機会がなかったのでとても勉強になった。地元の図書館はきわめてよく利用するので、つながりを一層強めていこうと思う。
- ・豊富な資料をもとに本と人の必要性、司書教諭と学校司書の重要性について説明していただき、今後の学校図書館の在り方を考えることができた。
- ・学校図書館の学習センターとしての機能について考えさせられた。もっと授業で学校図書館を利用していくように呼びかけ、実践していかなければと思った。また、「心のオアシス」とお話をされていたので、不登校や学校になかなか足が向かない子たちのための工夫も必要だと感じた。
- ・「インプット、アウトプット」「協働」について、委員会がすすめている「読書と作文」のプロジェクトが、まさしくここにつながるものだと思えた。ボランティアの立場として励みになる講義だった。



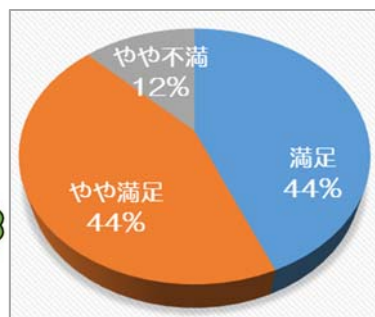
【事例発表】「学校図書館の効果的な活用」

- ・読み聞かせの実践をしていただき、中学生にも道德の時間などを使って取り入れていけたらと感じた。ステキな事例発表ありがとうございました。
- ・自分は中学校が現場なので、読み聞かせ実践は生徒の実態に合わせてとなるが、地域とのつながりなど魅力的なチームのあり方を考えさせられた。
- ・学級経営の中心は本という実践を聞くことができ、同じように読み聞かせに取り組んできた身としてうれしい。読書・図書館を教育課程にしっかりと位置づけることが学校全体の取組につながると気づくことができた。
- ・読書活動は教師が一番の環境に同感。教師が本好きでなければと思う。
- ・わかりやすい事例、本を好きになる大人、子どもの変化などわかりやすい説明で、結果の見える事例発表だった。普段の生活の中に本がある。自然に子どもたちが本を好きになることがよくわかった。



【説明・演習】「魅力ある学校図書館づくり」

- ・除架と除籍のちがいがわかった。また、改めて学校に司書の方が来ていただけの環境に感謝しなければいけないと感じた。私自身も司書の方に任せきりにするのではなく、できることをしていきたいと思う。
- ・除架について悩んでいたのが役立った。
- ・実践も含めてわかりやすい説明。専門職からの知識も得られてよかった。
- ・実際に学校図書館で研修を受けたので、通常の座学よりイメージをつかみやすかった。
- ・湊主査の説明と江差小学校の図書室がマッチして心に響いた。
- ・わかりやすく実践しやすい内容。
- ・もっともっとみなさんと交流しながら、魅力ある学校図書館づくりについて考えてみたかった。



【協議】「読書活動の活性化を目指した学校図書館のあり方」

- ・他校、他町と情報交流ができてよかった。
- ・いろいろな交流やすぐできるアイデア、様々な立場の考えなどを知ることができてよかった。
- ・具体的な話を深く話し合えてよかった。ありがとうございました。
- ・本はあるが、人をどう活用していくか、学校司書を全校においてほしい。
- ・時間がほしかった。もっと様々な視点から図書の話をしたかった。
- ・学校外で活動している人や団体について知ることができた。
- ・人と人とのつながりから組織の連携につながる。お互いの交流の中から連携できることが見つかる。



【全体をとおして】

- ・図書館の環境改善に努めたいと思う。
- ・本は増やすばかりで除架していなかったので対応したいと思った。
- ・町内の他の小中学校や町の図書館と連携して活動していきたいと思った。
- ・いろいろな立場の人との交流は勉強になる。このような立場の方々や図書事業をしてみたい。
- ・思っていたよりわかりやすい研修会だった。自分たちの活動の方向性が改めて認識できてよかった。

